

社会福祉法人 育心会

令和元年度処遇改善加算に基づく取り組み

1 平成27年度28年度29年度30年度における取り組み経緯

① 平成27年度

日付	講師	内容
6月18日	多気天啓苑 介護副主任	ボディメカニクス（自身の体に負担をかけず、かつ安全に利用者を介助するための技術習得）
9月25日	松阪天啓苑 介護主任	スピーチロック（身体拘束だけでなく言葉による拘束の弊害を知る）
12月2日	くろい歯科クリニック 黒井建志院長	認知症利用者への口腔ケア・リハビリアプローチ（口腔ケアによる様々な効果を学ぶ）
3月10日	明慎福祉会 藤田朋紀会長	認知症について（認知症を取り巻く環境、ケアの考え方、関わり方を学ぶ）

② 平成28年度

日付	講師	内容
7月6日	社会福祉法人育心会 大北典史理事長	育心会設立の目的、今後の法人方針 多気天啓苑 接遇マナー基準の説明
10月14日	(株)しのコーポレーション 濱島しのぶ氏	利用者様、ご家族様、職員間の接遇 (職員によるロールプレイ等)
12月1日	日本介護福祉士会常任理事 舟田伸司氏	利用者様への接遇（介護の楽しさ・介護への熱い思い・「思考する介護」を知る）
3月21日	多気天啓苑 介護主任 松阪天啓苑 介護主任	事例検討 (苦情例によりグループワーク検討)

③ 平成29年度

ア 津波対策として総工費1,300万円をかけ浮揚式シェルター2基を配備

平成29年9月23日、松阪天啓苑に、総工費1,300万円で「津波対策用浮揚式シェルター2基（計46人の利用者を収容）を配備」し、マスコミ5社に取り上げられた。

今後の課題は、定期訓練の実施で避難練度の向上を図ることである。

イ 音楽療養コンテンツ健康王国を導入

高水準サービスの標準化に向け、平成29年12月29日、多気天啓苑ディサービス事業所にエクスティング（株）の「健康王国」を導入した。費用は、モニター購入費108,000円、リース料金毎月35,600円であるが、利用者から「質の高いサービスである」と好評を呈している。

ウ ロボット等の導入、ICT活用準備

平成29年10月5日、オムロン名古屋営業所において、「介護支援用HAL装着体験会」を実施した。この製品の導入には至らなかったものの、今後もロボット等導入の取組みを推進する。

エ その他、法人独自で実施した研修会等

日付	講師	内容
5月23日	松阪天啓苑職員	ユニットケアの理念について
6月19日	松阪天啓苑職員	リスクマネジメント（事故データの活用）
6月29日	三重県理学療法士会監事 大西昇一先生	「腰痛の基礎知識」と「予防方策」について （多気天啓苑の施設と職員を考察して）
7月24日	松阪天啓苑職員	接遇について（ロールプレイを通じ学習）
8月29日	同上	入浴介助の注意点について
9月7日	県立看護大学大村氏	施設での高齢者の看取り介護について
9月25日	松阪天啓苑職員	食事介助・（トロミ剤の使用方法について）
9月26日	多気天啓苑職員	個々の嚥下・咀嚼状態にあった介助方法
10月5日	多気天啓苑職員による ロボット等導入研修	オムロン名古屋営業所において「腰装着用・介護支援用HAL装着体験」を実施
10月20日	ユニ・チャーム（株） 社員3名	多気天啓苑職員を対象とし、業者による「排泄ケアの現状と商品の機能と特徴と使用方策を研修
10月27日	松阪天啓苑職員	グループワークによる虐待防止研修
11月27日	同上	ユニットケアの理念について
12月6日	第一興商三重支店 多気天啓苑職員	業者による「生活総合機能改善機器の解説」及び職員による「介護保険制度・総合事業の勉強会」
12月18日	松阪天啓苑職員	排泄ケアについて
1月30日	同上	移乗介助について
1月31日	障害者支援施設副施設長 多気天啓苑職員	部外講師「高齢者の権利擁護と虐待防止」講演 「高齢者の権利擁護と虐待防止」の勉強会
2月16日	松阪天啓苑職員	口腔ケアについて
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護福祉士研修を受講させ、介護福祉士を4名養成 ○喀痰吸引研修を受講させ、従事可能な介護職員を3名養成 ○ユニットリーダー研修を受講させ、ユニットリーダー1名を養成 		

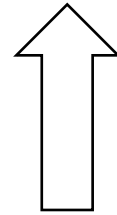
④ 平成30年度の取組み結果

ア 総括的な取組み

認定介護福祉士取得等を含めた研修への参画、介護福祉士の育成、介護職員のスキルアップ研修の強化等を図り、組織をあげ全体教養、機会教養、個別教養（マンツーマンによる指導）等を実施

した。30年度は、スキルアップの段階を下記のように明示し、目的を明確化し取組んだ。

認定介護福祉士
介護福祉士
介護職員実務者研修
初任者研修



その結果、認定介護福祉士講習へ1名が参画、新たに介護福祉士資格を2名が取得した。

イ 法人独自に実施した平成30年度キャリアパス研修の内容

下記内容等を実施し、引き続き介護職員の資質の向上を図った。

日付	講師	内容
5月18日	松阪天啓苑職員	リスクマネジメントについて (危険予知トレーニング)
5月18日	松阪天啓苑生活相談員	第1回身体拘束適正化研修会
6月12日	多気天啓苑生活相談員	身体拘束廃止検討及び事故防止委員会
6月19日	松阪天啓苑職員	移乗介助について (キネステティクスを活用した介護方法の学習)
6月28日	多気天啓苑職員	食事摂取量の安定を目指す ～栄養補助食品の導入について～
6月28日	多気天啓苑職員	身体拘束廃止・事故防止勉強会 ～身体的拘束禁止規定等について～
7月20日	松阪天啓苑職員	食事介助について (安全な食事介護の実践と服薬介助マニュアルの徹底)
8月29日	多気天啓苑	入浴マナー ～心地よく入浴して頂く為に～
9月5日	多気天啓苑職員	身体拘束廃止及び事故防止委員会
9月20日	松阪天啓苑職員	ユニットケアについて (難解な専門用語や略語を使わない記録方法の学習)
9月26日	多気天啓苑職員	遊ビリテーション ～余暇の充実を図ろう～ ～高齢者レクリエーションの目的等～
9月26日	多気天啓苑職員	身体拘束廃止・事故防止勉強会 ～身体拘束「0」の継続に向けて～
10月19日	松阪天啓苑職員	残存機能について (残存機能を活かすための介護方法)
10月19日	松阪天啓苑生活相談員	第2回身体拘束適正化研修会
10月25日 10月26日	多気天啓苑職員による ロボット等導入研修	インテックス大阪で開催された「ケアテックス 関西2018」の視察・研修を2日間で実施 ～別紙参照～

11月20日	松阪天啓苑職員	口腔ケアについて (口腔ケア用品を活用した口腔ケアの理解)
11月28日	多気天啓苑職員	「めざせ褥瘡ゼロ！」 ～除圧・大変・褥瘡予防～
12月17日	多気天啓苑職員	身体拘束廃止及び事故防止委員会
12月20日	松阪天啓苑職員	排泄介助について (性別や場面に応じた介助方法の学習)
12月21日	多気天啓苑職員	身体拘束廃止・事故防止勉強会 ～「抑制廃止福岡宣言」について～
12月21日	多気天啓苑職員	「対人関係アンガーマネージメント」 ～ 怒りとその対処方法 ～
1月27日	松阪天啓苑職員	24時間シートの記入について(継続性のある記録方法と専門用語による分類化の廃止)
2月7日	多気町役場健康福祉課 中出主幹	「総合事業について」 ～多気町及び多気天啓苑の現状と今後の取組～
2月18日	松阪天啓苑職員	レクリエーションについて
【その他】 <ul style="list-style-type: none"> ○認定介護福祉士研修に1名を参画中 ○喀痰吸引研修を受講させ、従事可能な介護職員を新たに3名養成 ○介護福祉士取得に3名養成中(2名が介護福祉士資格を取得) ※ 身体拘束・事故防止委員会(多気天啓苑4回開催) ※ 身体拘束適正化委員会(松阪天啓苑11回開催) 		

平成27年度から30年度は、上記のとおり、利用者、家族、職員間の信頼関係の構築、人間関係の醸成に重点を置いたスキルアップを実施した。

三重県社会福祉協議会主催の研修、老人福祉施設協会主催の研修、雇用関係助成金を活用した研修等への参画・参加のほか、法人独自研修の実施等により、介護福祉士の育成、介護職員のスキルアップ等に成果を上げた。その他、三重県社会福祉協議会から依頼された教育実習生の受け入れ、相可高校吹奏楽部及び地元小学校2校、地元中学との交流等に積極的に取組んだ。(今年度も継続)。

○ 実施主体

介護主任、キャリアパス研修委員が中心となり研修計画を立て実施した。

(生活相談員、介護支援専門員、看護師等がフォロー)

○ 評価

研修実施後に効果測定を目的とした個人評価を実施した。

○ 評価方法

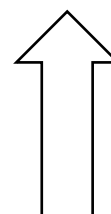
自己評価、主任評価、施設長等評価を実施し、本人評価との相違や改善点を明確にし、今後を活用することとした。

2 令和元年度の取組み方針

平成30年度まで取り組んだ種々のキャリアアップを踏まえ、令和元年度も引き続き、「認定介護福祉士取得等を含めた研修への参画、介護福祉士の育成、介護職員のスキルアップ研修」の強化等を図るべく、組織をあげ全体教養、機会教養、個別教養（マンツーマンによる指導）を推進する。

令和元年度は、さらに明確にスキルアップ段階を介護職員に明示し、目的の明確化を図る。

認定介護福祉士
介護福祉士
介護職員実務者研修
初任者研修



3 令和元年度キャリアパス研修の方針及び内容

下記内容等を実施し、引き続き介護職員の資質の向上を図る。

令和元年度は、ロボット等の導入、ICT活用の準備に重点思考した施策を推進する。

ロボット導入、ICT活用による介護職員の負担軽減に向け視察及び研修への参画	通年 特に10月11月
医師、看護師と連携した緊急時の対応及び対処方法研修の実施	9月
産業医（二神クリニック医師）との連携による「メンタルヘルス対策」・「心の健康の強化」等の実施	通年
県理学療法士会監事・施設PTによるフィジカルヘルス（介護職員の腰痛対策等、利用者の安全移動・移乗介助技術）等の技術習得に向けた研修の実施	年間数度実施
各種キャリアパス及び知識・技能習得に向け「DVD・書籍」を用いた「自己啓発コーナー」を施設に設置し、自己啓発機運の促進を強化	コーナーの 充実の推進
高度な地域貢献に向け「地域における公益的な活動」への参画意識の向上（夏祭等により地域住民、相可高校吹奏楽部との交流や小・中学生の福祉体験の実施、教員免許取得を目指す大学生の福祉体験の受入れ等）のほか新たな取組みを考察	随時
三重県社会福祉協議会主催研修、老人福祉施設協会主催研修等を活用したスキルアップ研修へ「幅広い人材の参画」による「介護職員スキルの底上げ」の推進	随時
機会教養・全体教養等を活用した介護職員の施設内研修の実施によるスキルアップ	随時
提供サービスの質の向上に向けた介護職員としての基本に基づいた技術の確認	各施設年6回
ユニットリーダー研修受講の推進やユニットケア実務の向上に向けた勉強会の実施	通年
フィジカルヘルス等の技術習得及び指導看護師による喀痰吸引業務従事者への技術継続研修の実施及び痰の吸引など医療行為を必要とする利用者への対応力強化	年1回以上
「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、「利用者への権利擁護意識の向上」と「身体拘束及び虐待防止の取組み」の強化	各種規程を 参考に実施

介護事故防止の徹底（絶無を目指す）のほか、「地震・津波・台風等の自然災害及び火災」等に対する防災対策の推進	年数度実施
認定介護福祉士研修への参画、介護福祉士実務者研修、喀痰吸引等研修等の資格取得に向けた講習参加の支援を実施するなど、利用者のニーズに応じた良質なサービスの提供に向けた体制の構築と優秀な介護人材確保方策を組織をあげ推進	年間を通じ、優先して実施
介護職員に対する個人評価及び各研修終了後の効果測定アンケートの徴収 通年の研修により、どれだけの効果があったか検証するための各「個人評価」を実施する。評価方法は、「自己評価、主任評価、施設長等評価」を実施する。 （本人評価との相違、改善点を明確にし、新たなスキルアップ等の参考とする。） また、法人独自の研修において「研修に対するアンケートを徴集」し、効果測定を実施し、「実のある研修の実践」を推進する。	年1回実施
身体拘束・事故防止委員会（多気天啓苑）身体拘束適正化委員会（松阪天啓苑）をさらに充実させ、高度な「入所高齢者の権利擁護」を身につけ、完全な「虐待防止」に向け、法人をあげ最重要事項として充実強化し取組む。	通 年

4 法人独自による各種研修等の主な開催主体

介護主任、キャリアパス研修委員が中心となり研修計画を立て実施する。

（生活相談員、介護支援専門員、看護師がフォローをする。）

5 「各研修実施後のアンケートの徴集」及び「年1回の個人評価の実施」

法人独自の研修実施後に効果測定のための、アンケートを徴集し分析する。

また年度末に「各介護職員のスキルアップの検証」をするための個人評価を実施する。

6 評価方法

個人評価は、「自己評価」、「主任評価」、「施設長等評価」を実施し、本人評価との相違、改善点を明確にしていく。

そのため、「自己評価」と「評価者による評価」の相違、改善点を明確にし、介護力のレベルアップと統一を図るための方策を推進する。